地形・地質の特徴

地　形

当地域は、比較的急峻な地形で、鵜戸山塊が海岸まで迫っています。特に、海岸部は波食による荒々しい海食崖を形成し岬地形が作られています。

地　質

当地域は、砂岩・泥岩の互層で形成される「宮崎層群」という地層で構成され、雨にもろく崩れやすい地質となっています。特に、「宮崎層群」の泥岩は乾湿の繰り返しによって土砂化する性質を持っており、種々のタイプの土砂災害の原因となっています。

土砂災害の発生イメージ



整備効果

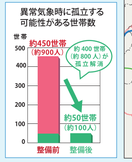
整備効果①：孤立集落の解消

日南防災(北区間)(南区間・宮浦～鵜戸)の整備により、鴛巣地区、伊比井地区、富土地区、小目井地区、宮浦地区、鵜戸地区の約400世帯、約800人の孤立が解消する。また孤立集落の解消により、孤立に伴う様々な問題の解決が図られる。

孤立集落の解消に伴う地域への影響

- いつでも診療が受けられる。(診療機会の確保)
- 異常気象時においても登下校が可能となる。(教育機会の確保)
- 食料品などの生活物資を安定して購入できる。
- 安定した観光収入が確保される。

異常気象時に孤立する可能性がある世帯数



事例：通行規制時の迷院



整備効果②：通行止め区間の短縮

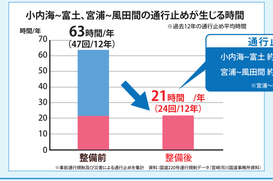
日南防災(北区間)(南区間:宮浦～鵜戸)の整備により、異常気象時事前通行規制区間の小内海～富土間延長4.5kmと宮浦～風田間延長11.2kmの一部、延長3.6kmが短縮され通行止めに伴う様々な問題の解決が図られる。

通行止め区間の短縮に伴う地域への影響

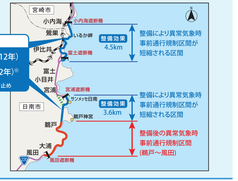
- 救急搬送が迅速に行える。
- 安心して通勤できる。

小内海～富土、宮浦～風田間の通行止めが生じる時間

※過去12年の通行止め平均時間



※事前通行規制及び災害による通行止め集計　資料：国道220号通行規制データ(宮崎河川国道事務所資料)



通行規制情報の確認方法

国道220号は、連続雨量が170mmに達した場合や落石の恐れがある場合等に通行止めになります。以下の方法で雨量や通行止め、画像等の情報を確認できます。

■スマートフォン用URL
【宮崎河川国道事務所「道路の規制状況」】
http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/bousai/top.html?gmn=mapDR2

スマートフォン用

※情報料は無料ですが、通信料金は利用者負担となります

日南国道維持出張所までお問合せください。
TEL:0985-69-3694

事業の進め方

1 事業の概略説明



測量立ち入り、測量杭打設
地質調査の説明を行います。

2 測量・地質調査



設計のための
測量を行います。

3 設計協議



設計案を作成します。

道路の高さ、取付道路等の内容について地元の皆さんと話し合いを行います。

4 用地測量と物件調査



事業に必要な用地の範囲に杭を打設し、土地の境界確認・測量、補償物件の調査をします。

5 補償内容の説明



権利者ごとに算定した補償金について、ご理解いただけるよう説明し、話し合いをします。

6 契約の締結と登記手続



7 工事説明



工事中にご迷惑をおかけしないように工事の進め方、工事中の交通処理等について説明します。

8 工　事



工事中の相談等についても現場の担当者がお聞きします。

9 工事の完成



令和3年 1 月作成

■お問合せ先
国土交通省 九州地方整備局
宮崎河川国道事務所
〒880-8523 宮崎市大工2丁目39　TEL(0985)24-8221(代)
http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/　E-mail:qsr-miyazaki@mlit.go.jp
https://m.facebook.com/miyazaki.mlit.go.jp/



安心・安全な道路を目指して

国道220号 日南防災
(北区間/南区間・宮浦～鵜戸)



令和2年 4月26日開通「伊比井潮風トンネル」

国土交通省 九州地方整備局
宮崎河川国道事務所

計画概要

国道220号は、宮崎市を起点として日南市、串間市を経て鹿児島県霧島市に至る延長約190ｋｍの東九州南部における主要幹線道路です。観光宮崎のシンボルロード(愛称:フェニックスロード)として、観光はもとより県南地域の生活・産業・経済に欠かせない重要な路線です。しかし、宮崎市折生迫から日南市風田間は、海岸線の屈曲が著しく特殊な地質(宮崎層群)の地域を通過しているため、異常気象時には通行規制を実施しなくてはなりません。

「国道220号日南防災(北区間)(南区間・宮浦～鵜戸)」は、異常気象時に通行規制を行う区間のうち、宮崎市小内海から日南市富土間(4.5ｋｍ)、日南市宮浦から日南市鵜戸間(2.7ｋｍ)を対象とした道路整備です。

異常気象時の通行規制に伴う事業区間内の孤立集落を解消するとともに、災害等に伴う通行止めによる迂回を解消することを目的とした防災事業として、平成23年度および令和2年度に事業着手しました。

計画緒元

路線名	一般国道220号	
	北区間	南区間-宮浦～鵜戸
計画区間	(自)宮崎県 宮崎市 大字内海 (至)宮崎県 日南市 大字富土	(自)宮崎県 日南市 大字宮浦字 鳥越 (至)宮崎県 日南市 大字宮浦字 松ケ迫
計画延長	2.6km	1.7km
道路規格	第3種第2級	
車線数	2車線	
設計速度	60km/h	

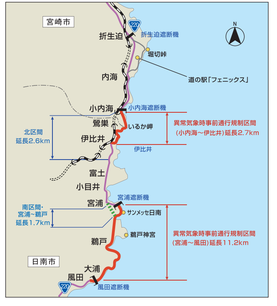


道の駅 フェニックス

異常気象時事前通行規制区間

国道220号の宮崎市折生迫から日南市風田間(32ｋｍ)は、落石や土砂流出などの土砂災害が多発する区間であることから、昭和45年に異常気象時における事前通行規制区間に指定し、降雨等で災害の恐れがある場合に、道路利用者の安全確保を図るため規制を随時実施してきました。

その後、法面の防災対策やバイパス等の抜本対策の実施により、一部区間の指定解除や規制基準の緩和が行われ、現在の規制区間は2区間13.9ｋｍ、規制雨量基準は連続雨量170mmとなっています。



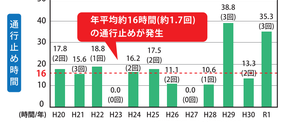


鵜戸から宮崎方面を望む



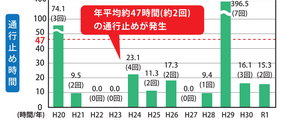
鵜巣から伊比井方面を望む

小内海～富土 通行止め時間及び通行止め回数



※事前通行規制及び災害による通行止め集計
資料：国道220号通行規制データ(宮崎河川国道事務所資料)

宮浦～風田 通行止め時間及び通行止め回数



※事前通行規制及び災害による通行止め集計
資料：国道220号通行規制データ(宮崎河川国道事務所資料)

異常気象時事前通行規制区間　延長32.0km

①区間　延長4.1km
H27年4月規制区間解除

②区間　延長5.1km
H15年6月規制区間解除

③区間　延長4.5km
H23年4月事業着手

④区間　延長7.1km
H15年6月規制区間解除

⑤区間　延長11.2km

R2年4月事業着手

過去の災害
平成11年6月災害（鷺巣地区）

過去の災害
平成2年9月災害（伊比井地区）

過去の災害
平成29年10月災害（志戸辻地区）

過去の災害
平成29年6月災害（宮浦地区）

日向灘
日南海岸国定公園

T' 15=8,865台/日
T' 10=8,593台/日

T' 15=7,991台/日
T' 10=7,517台/日

T' 15=7,280台/日
T' 10=7,062台/日

1工区
延長1.5km

2-1工区
延長0.2km

R2年4月開通
2-2工区
延長0.9km

日南防災（北区間）
延長2.6km 事業化区間

日南防災（南区間：宮浦～鵜戸）
延長1.7km 事業化区間

宮崎市
宮崎県
日南市

青島
折生迫
堀切峠
鬼の洗濯板
とるば「フェニックス」
とるば道の駅「フェニックス」より1km南
道の駅フェニックス
堀切峠トンネル
青島トンネル
内海
JR日南線
伊比井
伊比井潮風トンネル
鷺巣
富土海水浴場
日南富土トンネル
小目井
宮浦トンネル
宮浦
鵜戸
新鵜戸トンネル
鵜戸神宮
サンメッセ日南
日南市立鵜戸小中学校
小吹毛井
大浦
風田
とるば青島パーキング
とるばこどものくに駐車場
とるば鵜戸パーキング
とるば小吹毛井第1パーキング
とるば小吹毛井第2パーキング

凡例

一般国道（事業化区間）	
一般国道（直轄管理区間）	
一般国道（直轄管理区間）	
一般県道	
その他道路	
橋梁	
トンネル	
交通遮断器	
市町村境界線	
道の駅	
フォトスポット&パーキング（とるば）	
集落	
学校	
災害による通行止め箇所（H1～）	
鉄道	
雨量観測所	

（交通量）　T'15=H27年度 全国道路・街路交通情勢調査
T'10=H22年度 全国道路・街路交通情勢調査

標準断面図

土工部　橋梁部　トンネル部

沿線の主な観光地


青島

堀切峠

鬼の洗濯板

道の駅フェニックス

富土海水浴場

鵜戸神宮

飫肥城跡

堀川運河

0　1　2km

「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 2JHI 385」「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」